

プレスリリース

2010年12月号

ハイキング、狩猟、スポーツ射撃 - 趣味やレジャーに需要増

- ・ドイツのハイキング装備市場の売上は40億ユーロ
- ・銃砲展から世界をリードする見本市へ
- ・狩猟、スポーツ射撃、アウトドア、セキュリティーのすべて

アウトドアがブームだ。販売店は、2011年3月開催のIWA & OutdoorClassicで世界中から出品される来シーズン向け新製品を採用する。「IWA & OutdoorClassicは一般大衆向けのイベントではなく、狩猟やアウトドア部門も含む様々な分野の国際バイヤー向けの100%業界専門の見本市です。」こう語るのは同見本市上級プロジェクトマネージャーのプロイテンボルベック氏。この狩猟、スポーツ銃器、アウトドア用品、そしてセキュリティー用必需品を対象とした世界をリードする展示会は、ニュルンベルクエキシビジョンセンターで2011年3月11日から14日にわたり開催される。

IWA & OutdoorClassicは、昔から関連部門の製品を世界的に提供するだけでなく、最新のトレンドをも紹介している。例えば、ドイツではハイキングは人気のあるレジャーになってきており、かつての「貧しい人々の楽しみ」というイメージからは程遠い。ドイツハイキング協会の最近の調査によると、ドイツ人の56パーセントがハイキングを楽しんでおり、そのうちの15パーセントは定期的に参加している。

また、ハイキングは年間を通じ行われており、ハイカーの4分の1は、冬でもハイキングに行っている。このため、ハイキングは、1シーズンしかできないアウトドア活動と異なる。特に冬のハイキングは、今後発展の可能性を秘めた期待できる市場であるという。現在、ドイツ人はハイキング関連市場に年間110億ユーロを支出しており、そのうち、適切な装備品だけで37億ユーロの市場を形成している。装備品メーカーは、IWA & OutdoorClassic 2011に出展することになっており、ハイキング、アウトドア、ハンティング製品が多数出展される。「正しい装備は自然の中での体験を味わうのに大いに貢献します。例えば性能のよい双眼鏡は、ハンターにとって重要であると同時に、ハイカーの楽しみにとっても重要です」とグイドーベルク見本市宣伝部長は言う。展示品目は、双眼鏡、懐中電灯、水筒、方位磁石、ナイフ、リュック、シューズ、ウェアと多岐に亘っている。「革製のニッカポッカは民族衣装であり、今日では重い登山靴同様、時代遅れです。今のハイキングシューズやウェアは、可能な限り軽く、多機能でなければなりません」とプロイテンボルベック上級マネージャーは言う。防水機能を有し、呼吸する素材は当たり前で、最先端のハイキングウェアは、UVカットやダニ予防など多くの特徴を備えていなければならない。ここではハイテクがあらゆる分野で重要であり、例えば懐中電灯では、マイクロチップ制御のLED

で、従来の豆電球ではとても実現できなかった“丈夫で長持ち”を可能にしている。

IWA & OutdoorClassic - 銃器から広範囲に成長

IWA & OutdoorClassic は 30 年以上前に銃器売買と銃器製造業者のための見本市として開催され、時の経過とともに、世界中の著名なメーカーが製品を展示する、今では不可欠の見本市へと成長した。国内メーカーが国際的企業へと成長するだけでなく、展示会のテーマや方針もこの 30 年の間、常に成長してきた。ドイツ銃器製造業者・取扱業者連盟 (VDB) 会長、ユルゲン トリーベルは、毎年 1000 を超える出展社と 3 万人以上の業界関係者が訪れるこの IWA & OutdoorClassic の成功の秘密の一つは、常に成長する出展品の多様性にあると見ている。

関連プログラムの見どころ

ブースでの広範な出展品目の他に、講演をはじめ、芸能界などからの著名なゲストによる魅力的なプログラムが組まれている。また販促のアイデアを見せる “Look Showcase” も見物だ。「商品に値札を付けて棚に並べるだけではだめで、売上を伸ばすには買う気をそそることが益々重要になっている」と業界誌の発行者は強調する。こうして 2011 年には初めて店舗デザインや立地を巡るプログラムが展開される。

警備・警察部門 武器と情報

IWA & OutdoorClassic で成長し続ける部門が警備・警察分野である。毎年、この見本市の時期にニュルンベルクでは、ドイツ警察訓練協会 PiD と協同で実施される欧州警察訓練会議と、ミュンスターのドイツ警察大学の専門会議が開催される。これら会議にはデモエリアでの情報豊富な実演プログラムが付帯している。見本市と警察関連会議の組み合わせは、まさに打ってつけである。というのは、全世界の装備メーカーが特殊部隊と機動隊向けの新製品をニュルンベルクで展示するからである。

IWA & OutdoorClassic では、この分野のさらなる充実を目指す。というのは、官民においてセキュリティーや警備に対する需要が増大しているからである。2010 年夏にニーダーザクセン州の犯罪学研究所が行った「警察官に対する暴行」調査の結果によると、過去 5 年間に警察官に対する暴行は確実に増加しており、それだけ防護装備の改善が重要になっている。IWA & OutdoorClassic 2010 の入場者のほぼ 3 分の 1 は、警備・警察の分野に特に関心を持っており、4 分の 1 は、セキュリティーに関するさらに多くの展示を希望した。

IWA の警備・警察部門は、6 年前から国際警察部隊と民間警備会社を対象とした重要なフォーラムを形成してきた。IWA は来場者の意向を考慮し、今後の需要に向けた取り組みを行っていく。

専門家のための IWA & OutdoorClassic

この専門見本市はすべての部門に於いて革新と新たな潮流に力を注いでいる。武器や弾薬以外に、自然の中での体験、特にハンティングや射撃、アーチェリー、ハイキング、動物観察をめぐるあらゆる製品が展示される。新たなホビーやそれに適した製品、魅力的なアイデアならびにふさわしい贈り物に関する新たな情報が会場で得られる。官庁の調達者は、公務用銃器ならびに警備用品（防弾チョッキ、盾、機能性ウェア、銃ケースと砲弾、要員用グッズ）や身体保護グッズの提供を期待している。

IWA & OutdoorClassic は、プロの来場を前提としている。また 18 歳未満の子供や青年は入場できない。従って、入場券は専門販売業者、該当官庁、警備会社の来場者のみに配布され、入場の際は、入場資格証を提示する。